

宮島包ヶ浦自然公園利活用検討協議会（第4回） 会議録（要点）

日時：令和6年7月19日（金）11:25～12:20

場所：宮島包ヶ浦自然公園管理棟

◎ 出席者 ※順不同

【委員】

有本 隆哉（前宮島旅館組合組合長）

佐々木 雄三（市議会議員）

中村 靖富満（宮島観光協会会長）

正木 文雄（宮島町総代会会長）

松本 誠（宮島町商工会会長）

村上 雅信（廿日市市副市長）

原田 忠明（廿日市市副市長）

木下 英治（廿日市市産業部長）

【事務局】

山田 実（廿日市市産業部観光課長）

◎ 公開・非公開等について

- ・ 前回の協議会での決定に基づき、非公開により開催した。
（閉会後の取材対応等を実施）
- ・ 協議会開催前に、宮島包ヶ浦自然公園内の現場視察（1時間15分程度）を実施した。

1 開会

発言者（座長）

- ・ 前回（6月13日）の協議会では、市のゾーニング案を提示したものの、具体的な活用イメージが湧かず、公共エリアの整理が十分できていないということも分かった。
- ・ 6月17日には、「宮島包ヶ浦自然公園を守る会」から市議会への説明があり、また、市からも議員全員協議会に対し方針の説明を行ったが、改めて全体の利活用の方針を策定する必要があるだろうと考えている。
- ・ 方針の策定に当たっては、少し幅広い意見を聞く必要があるのではないか、という話もあり、本日は、今後の進め方について、皆さんと議論させていただきたい。

2 協議事項

宮島包ヶ浦自然公園の利活用検討の今後の進め方について

○ 市から説明【資料】（木下産業部長）

発言者（座長）

- ・ 加えて、議会から市長へ申し入れが出ており、一点目は、市民や団体に対し、適宜情報を提供し、説明すること、二点目は、この協議会で十分議論し、事業を進めること、であり、これを踏まえて進めていきたい。

○ 質疑

発言者

- ・新たなメンバーには、宮島包ヶ浦自然公園を守る会を入れてほしい。
- ・とにかく市長と話をしたい、というのが市民の思いであり。現状では、協議会が開催されても、市は、結局事業を進めるように思える。不信感がある。
- ・市長が来て、宮島のためになるものだと、住民に対し、ちゃんと説明しないと、納得はされないと考える。
- ・宮島学園には、半数以上が島外から通ってくる。交通費（船賃）を出資してでも、学園の特徴である自然や歴史、文化を学びたい、という思いがあるからだと考えている。宮島学園は定員いっぱいである。
- ・新たなメンバーには、宮島包ヶ浦自然公園を守る会、特定非営利活動法人宮島ネットワーク、宮島学園でヒメボタルの生態などを説明を行う先生、商工会の青年部、観光協会の若いメンバーなども参加してもらうべきである。

発言者

- ・まずは、包ヶ浦自然公園を守る会と市が話すべきと考える。その後、住民説明会をするのが良いのではないかと考える。そうしないと、中々前に進まないかと考える。

発言者

- ・協議会に様々な方を入れたり、人数を単に増やすということでは、中々意見がまとまらないのではないかと考える。
- ・協議会の落としどころ、いつまでやるのかをそろそろ考えないといけないのではないかと考える。
- ・宿泊施設は必要と思うが、結局はどこの事業者が運営するのかということが大事であり、その事前調査として、公園を専門とした民間のコンサル事業者を活用することも必要と考える。

発言者

- ・6月17日の環境産業常任委員会で宮島包ヶ浦自然公園を守る会の話聞いた。ほぼ全議員が参加していた。同日、議員全員協議会での説明があり、その後、環境産業常任委員会から議長宛てに、さらに議長から市長宛てに申し入れがあった。主な内容としては、市は、宮島包ヶ浦自然公園を守る会とよく話をするようにということであった。
- ・これまでの協議会は、どのように進めるかという議論のみで、市の誘致案に対する話はなかったと考える。また、先日の議員全員協議会ではヘリポートの件についての質疑が多くあり、新聞報道でも8月に工事に着手するとの記事もでており、市は勝手に進めるのか、住民も心配している。
- ・協議会のメンバーに誰を入れるかというよりは、まず、現状について、市から住民に対し説明をするの先ではないかと考える。

発言者

- ・本日、現地を見たが、テニスコートが荒れ果てている。早く復興、活性化に向けて動く必要がある。
- ・宮島包ヶ浦自然公園を守る会については、市が窓口となり、対応していただきたい。
- ・正直なところ、反対のための意見が多く、もっと前を向いた議論が必要であり、協議会はそのような場にしなければならない。
- ・別の会議の場合は、諮問的な立場の方が良いのではないかと考える。

- ・宮島ネットワークという意見があったが、専門的な話を聞くことは良いことであるが、様々な分野の話を聞くべきであり、そのタイミング等についてもよく整理すべきである。

発言者（座長）

- ・意見の多くは、市は宮島包ヶ浦自然公園を守る会としっかり話をすべきということであり、議会からも宮島包ヶ浦自然公園を守る会に対し、情報提供を行い、しっかり説明をするようにと申し入れを受けているところである。市がしっかり窓口となって向き合うことが必要だと考えている。
- ・協議会については、これまでの設立経緯もあり、このままのメンバーでやっていきたいと考えるが、今後、新たな利活用方針案を作るに当たっては、幅広く意見を聞くこととしたい。
- ・新たな利活用方針案を作る上での意見を聞く場として、協議会委員の構成団体から、3名程度選出していただきたい。宮島包ヶ浦自然公園を守る会については、団体としての参加ではなく、属している協議会委員の構成団体からの選出として、参加していただければと考える。
- ・これまでのように、市が主導ではなく、コンサルにも参加してもらい、色々な方にも加わってもらい、できるだけ多くの方に理解してもらえる案をつくっていければと思う。
- ・このような形で前に進めていきたいと考えるが、どうか。

発言者

- ・これまで協議会に参加している各団体の代表者以外で、その団体の別の方が参加するのが良いと思う。できれば、その会を数回開催し、その都度、人を代えて参加すれば、より多くの方が参加できるのではないかと思う。

発言者

- ・これまでの話では、高付加価値旅行者向けの宿泊施設誘致ありきで進んでおり、ヘリポートの話や、(ADR) 10万円の話、公共エリアのゾーニングなどは、まだ十分な議論ができていない。

発言者（座長）

- ・個別具体的な話については別途行うこととし、本日は、進め方の議論をさせていただきたい。

発言者（市）

- ・進め方については、今後の状況に応じて協議することになると思うが、現時点では、様々な意見を聞き、その内容を協議会に情報提供し、市がどのようにまとめていくのか、相談させていただきながら進めていくことになるかと考えている。

発言者

- ・10万円の話はどうするのか。宿泊施設の誘致の条件となるのか。

発言者（市）

- ・このことについては、もっと丁寧な説明をさせていただく必要があると思っているが、募集する方針・内容がもう少し具体的に進んだ際に、要求水準を策定する中で決めていくことになる。
- ・現時点では、まだ計画段階であり、宿泊施設誘致をして良いかという議論を行った後の次のステップでの議論になるものと考えている。

発言者

- ・市長は商工会、観光協会の挨拶の中で、包ヶ浦自然公園に触れ、正確な情報が伝わっていないと発言された。どこが間違っているのか、どこが正解なのかを市長自ら市民に伝えるべき

である。廿日市市民は4180名が高付加価値の宿泊施設は反対ということをよく認識すべきである。

- ・令和2年3月に100年の計として市が策定した「宮島まちづくり基本構想」に包ヶ浦自然公園の在り方については高付加価値の宿泊施設（市長が令和4年2月公募）は入っていない。宮島まちづくり基本構想にそっていないのは何故なのか。

発言者（座長）

- ・どんな情報が知りたいのか。

発言者

- ・市は、ホテル誘致の入り口を変えておらず、そこに我々の意見を足して、ホテル誘致を最終的な結論として妥結点を探ろうとしている。今、ホテルを建てようとしている上での正確な情報を出してほしい。

発言者（座長）

- ・今、ホテルを建てようとしている計画があることは正しい情報である。

発言者

- ・どこが正確で、どこが間違っているか説明がないと分からない。

発言者（座長）

- ・市から発信する情報は正しく、署名の用紙に書いている情報は異なるものがあつた。

発言者

- ・市長の話と執行部の話に相違があるように思う。

発言者（市）

- ・正しく伝わらなかった1番の理由は、住民の方への説明の仕方に問題があつたと思うが、高付加価値のホテルを誘致することそのものが目的であるかのように説明をしたことは、市の誤りであつたと考える。
- ・本来は、なぜ高付加価値のホテルを誘致しようするのか、そのメリットは何なのか、というようなことをしっかり説明しないとイケなかつた。

発言者

- ・住民説明会の際には色々質問があつたが、市はちゃんと答えなかつた。宮島のために実施することで、ちゃんとした思いがあるなら、市はしっかり説明すべきであつた。そうでなければ、人はついてこない。

発言者（座長）

- ・市としても、反省している。ボタンの掛け違いがあり、それをこの協議会でほどく場と考えており、引き続きしっかり進めていきたいと考えるので、ご理解、ご協力をお願いしたい。
- ・これから検討を進めるに当たっては、協議会とは別に、各団体から3名ずつ、3回程度、参加していただいて、ヒアリング、又は話し合う場を設けたいと思うが、よろしいでしょうか。
- ・ある程度話がまとまった後に、協議会を開催したいと考える。

発言者

- ・宮島包ヶ浦自然公園を守る会は話し合いの場に参加しないのか。

発言者（座長）

- ・宮島包ヶ浦自然公園を守る会、団体としては参加できないが、協議会に参加している各団体の構成員、個人として参加することはできる。

発言者（市）

- ・これとは別に、市が、宮島包ヶ浦自然公園を守る会とは話し合う場を設ける。

発言者

- ・確認であるが、協議会については現状の5名のまま、進めることで良いか。

発言者（座長）

- ・そのとおりである。

発言者（市）

- ・まとめとしては、まず1点目として、宮島包ヶ浦自然公園を守る会とは、市が窓口となって話を聞く。
- ・2点目として、協議会とは別に、4団体から3名ずつ参加し、数回、3回ぐらい話し合う場を設ける。

発言者

- ・より多くの人の意見を聞く趣旨からすると、各回に参加する3名は別の方、つまりは、合計で9人が参加する方が良いのではないかと思う。

発言者（市）

- ・最後、3点目は、宮島ネットワークなど、専門的な活動・知見のある団体などの意見を聞くことも検討する。

発言者（座長）

- ・次回の協議会は、今後の話し合い、検討状況の進捗に合わせて、別途調整することとする。